

岩国基地の強化の中止を求める申し入れ書

防衛大臣 稲田朋美殿

日本政府は、米国政府とともに、海上自衛隊と米軍海兵隊の共同基地である山口県の岩国基地を一大強化しようとしている。岩国基地はすでに、オスプレイの訓練拠点となっており、また、愛宕山 270 戸、基地内 790 戸の米軍住宅が建築中だ。加えて、普天間基地から KC130 空中給油機部隊が移駐した。2017 年には、厚木から空母艦載機 57 機が移駐し、また、最新鋭戦闘攻撃機 F35 が米国以外で初めて配備されようとしている。岩国基地は、この一連の強化によって極東最大の海兵隊基地となる。朝鮮半島をはじめとする東アジア地域を対象とする侵略戦争のための日米共同の出撃拠点としての機能を飛躍的に高め上げていこうというのだ。米軍の兵士・軍属の急増に伴い、彼らによる犯罪と基地被害もまた極度に悪化するの明らかだ。絶対に容認できない。

岩国の人々はこうした基地強化に反対する行動を起こし、現在も続けている。私たちはこれに連帯する。

同時に、沖縄における辺野古新基地建設と高江へり基地建設の強行は岩国基地強化と一体のものであり、これらの建設に反対する。

私たちは、基地強化に反対する岩国市民の取り組みに連帯し、日本政府防衛省に以下の点を実行するよう強く求める。

- 一、岩国基地の強化に関する一切の施策と米国政府への協力を中止すること。
- 一、沖縄における米軍の辺野古新基地建設と高江へり基地建設を中止すること。

2016 年 8 月 21 日

アジア共同行動首都圏

東京都港区新橋 5-17-7 新橋小林ビル 2 階 全国一般労働組合全国協議会気付